東京都防災(語学)ボランティアニュース

令和３年
３月号

東京都防災（語学）ボランティアの皆様に活動情報や豆知識をお送りするメールニュースです。
今月は以下のような内容です。

今号のラインアップ

特集

◎ 令和２年度東京都防災（語学）ボランティア　研修報告

◎令和2年度 東京都防災（語学）ボランティア研修報告　１

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたため、延期となっていた東京都防災（語学）ボランティア研修を2月24日（水）にオンラインにて開催いたしました。たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。
オンラインでの開催は初めての試みでした。途中、配信がストップするトラブルがあり、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

概　要

	研修内容
実施時期	令和3年2月24日（水）19:30～20:30
研修方法	日時指定オンライン（ＺＯＯＭ）配信
対象者	東京都防災（語学）ボランティア
参加人数	94名
第一部	講師：東京都職員 「東京都防災（語学）ボランティア基礎研修」（スライド）
第二部	講師：菊池　哲佳氏 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会理事 「災害時対応における多文化理解ー防災語学ボランティアに求められる心構えー」 ※グループセッション有り

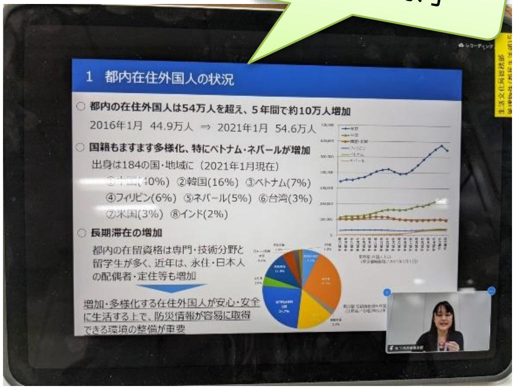
◎令和2年度 東京都防災（語学）ボランティア研修報告　２

第一部　東京都防災（語学）ボランティア基礎研修

第一部では、防災（語学）ボランティアとして、皆さんにぜひ聞いていただきたい東京都の在住外国人に向けた防災施策について、以下の内容をパワーポイントを使って都職員より説明をいたしました。

①都内在住外国人の状況、
②災害時の外国人支援（外国人災害時情報センター、防災（語学）ボランティアの役割）
③東京都防災（語学）ボランティアの活動状況
④外国人への防災情報提供

当日の様子

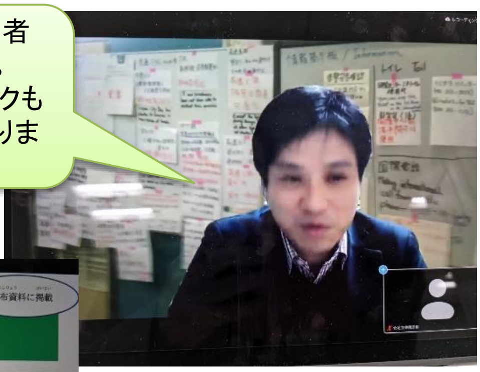


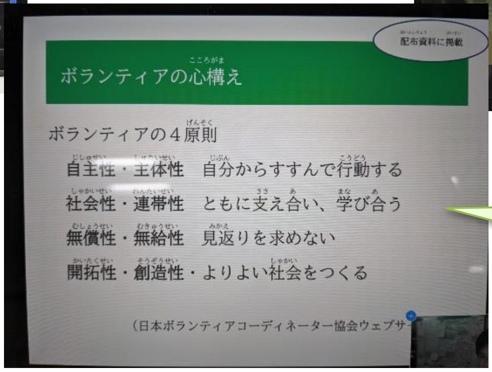
第二部　多文化共生の視点から考える地域防災 ―防災語学ボランティアに求められる心構え―

第二部では、講師に(特活）日本ボランティアコーディネーター協会理事　菊池哲佳氏をお迎えし、「多文化共生の視点から考える地域防災」をテーマに、事例紹介やワークショップを通じて、防災（語学）ボランティアに求められる心構えについて考える研修となりました。事例紹介では、発生から10年を迎えた東日本大震災での外国人支援活動を振り返り、災害時の情報伝達について、またワークショップでは、避難所における日本人と外国人の共生の事例を通じて、多文化共生時代のコミュニケーションについて講義していだきました。菊池氏の東日本大震災での実体験に基づいたお話に、共感を持たれたボランティアも多かったのではないかと思います。

都職員より菊池氏へバトンタッチ。

やさしい語り口ながら、参加者をグイグイ引き込む菊池氏。クイズもあり、グループワークもありの中身の濃い時間となりました。

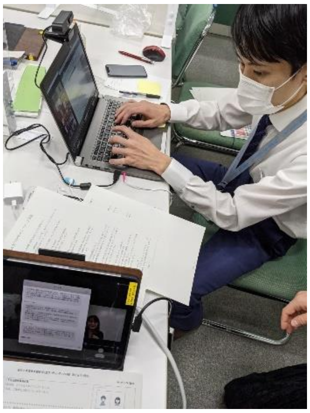




心に留めたい
ボランティアの心構え

◎令和2年度
東京都防災(語学)ボランティア研修報告　3

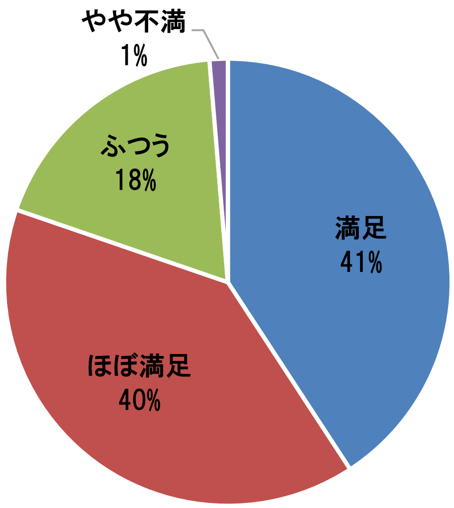
質疑応答では、皆さんからの質問をチャット機能を使い、講師及び都職員より回答いたしました。



アンケートのご紹介（一部）

Q1. 第一部「東京都防災（語学）ボランティア基礎研修」について

研修内容について



ご意見

ネット利用がこれから一層必要になると思うので今後も集合研修とは別に行うことが良いと思います。

講習が途中から駆け足になってしまったのが残念だった。内容はわかりやすい。

災害時に外国人災害時情報センターが立ち上がり区市町村と連携することが良くわかりました。

東京都在住の外国人の状況や、語ボラの活動状況がわかりました。それらの活動に於いて、外国人の感想や要望なども聞けると、日頃どのような準備が実際の時に役に立つのかわかると思うので、そういう情報も合わせてあれば良いと思いました。

途中で音声や画面の途切れがなければもっと良かったと思います。初めての参加でしたが、現状を知ることが出来て非常に勉強になりました。

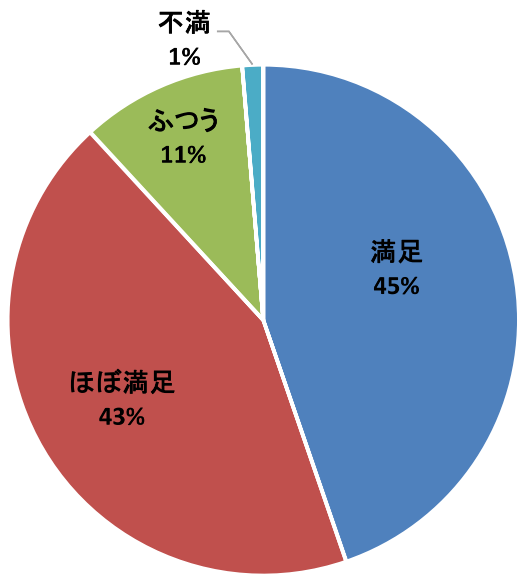
通信状況が不安定だったため、途中音声が途切れたり、聞きづらい場面がございましたことを深くお詫び申し上げます。

◎令和2年度 東京都防災（語学）ボランティア研修報告 4

アンケートのご紹介（一部）

Q2. 第二部「多文化共生の視点から考える地域防災 ―防災語学ボランティアに求められる心構え―」について

研修内容について



実際の支援例が写真や具体的な説明で話されたのが非常に参考になった。今後、仙台だけでなく、他の地域の例も聞いてみたいです。

ご意見

グループワークは大変勉強になりました。普段からのつながりを作ることが重要だと気付きました。

菊池先生のお話とワークショップは、現実問題として大変参考になりました。ボランティアの人達にリアルなお話をしていただき有難うございました。

仙台でのボランティア活動のお話や実際のラジオ放送を聞いて、勉強になりました。

話し合った内容が発表できるとよかった。

実際の災害時での対応が写真などからわかって良かった。

仙台での実例のお話が聞け、避難所の現状を把握できたことは貴重な経験でした。

オンラインというのを生かし、それぞれのグループでまとめた内容をどこかに報告できる様にしていただき、後日参照できる様になっていれば良いのにな、と思いました。

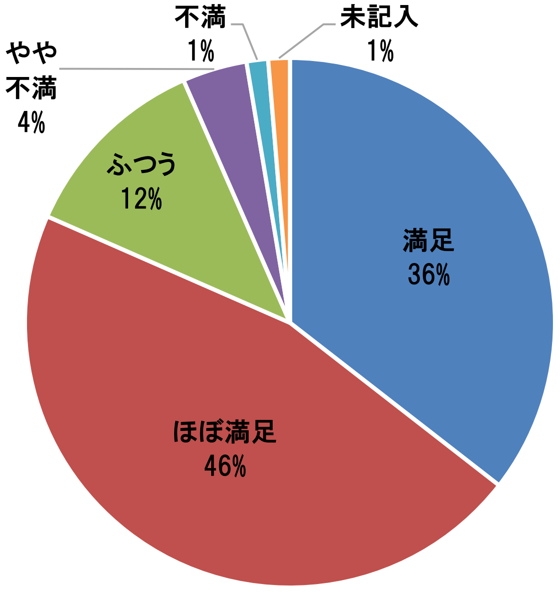
皆様の貴重なご意見を講師に届けました。皆様への感謝とともに様々なご意見を真摯に受け止め、今後の励みにしたいとのことでした。

◎令和2年度
東京都防災(語学)ボランティア研修報告 5

アンケートのご紹介（一部）

Q3.初めてのオンラインによる開催でしたが、いかがだったでしょうか？

オンライン開催について



ご意見

- オンラインでしたがワークショップや講義を通して、とても興味深い話を聞くことができ、非常に満足しました。
- コロナ禍で行動制限がされている中、このような形で研修を受けられたことは良い体験でした。
- 音声もクリアで説明もわかりやすかったです。
- オンラインは自身のWeb環境もあり、時々不安定であったが、概ね良好な開催・運営であった。
- ブレークアップでの顔出しは強制せず、オプションにした方がいいと思います。
- ワークショップへの参加の前に、全員のカメラのONを確認してからブレイクアウトしなかったので、皆さんが終始カメラOFFで参加し話しにくかったです。
- コロナの影響でなくても、平日リモートワーク終了後でも開始時間に間に合うなど、オンラインのほうが参加しやすいです。

概ねオンライン開催に前向きなご意見を頂き、感謝申し上げます。主催者側のトラブルにより、途中音声が止まりましたことを深くお詫び申し上げます。次回のオンライン開催の際には、この経験を活かしたいと思います。

◎令和2年度
東京都防災（語学）ボランティア研修報告　6

アンケートのご紹介（一部）

Q4. 今後、研修で取り上げて欲しいテーマはどのようなものですか。

Top 3

1	災害時のコミュニケーションスキル
2	災害時の対応例
3	災害時の異文化理解について

Q5. 平常時の活動でご協力いただけることはどのようなことでしょうか。

Top 3

1	防災訓練の参加
2	交流イベントでの通訳
3	公的機関での窓口通訳

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、研修形式を大幅に変更するなど、東京都防災（語学）ボランティアの皆様には大変ご迷惑をおかけしました。初めてのオンライン開催となりましたが、たくさんの方にご参加いただき、感謝申し上げます。

今年は、東日本大震災から10年、熊本地震から5年の節目の年です。また、近年は風水害による災害も増えています。防災（語学）ボランティアの皆様とともにあらゆる災害に備えるべく、ボランティアの役割を共に考えていきたいと思っています。来年度も、皆様のご意見を参考に、より良い研修が開催できるよう努力する所存でございます。引き続きどうぞよろしくお願いします。

«語ボラニュースの内容に係るお問合せはこちら»

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目８番１号
東京都　生活文化局　都民生活部　地域活動推進課
東京都防災（語学）ボランティア担当
e-mail： S8000224@section.metro.tokyo.jp
TEL 03-5320-7738　　FAX 03-5388-1331

東京都生活文化局　公式ホームページ　（語ボラ関連ページ）
http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/chiiki_tabunka/tabunka/tabunkasuishin/0000000145.html